

# 陸連時報 三

2014  
平成26年

6 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

## 目 次

第17回アジア競技大会(2014/仁川) マラソン日本代表.....	198
強化関連情報(強化委員会).....	200
第21回世界ハーフマラソン選手権大会報告(強化副委員長 酒井勝充)	
2014年度強化委員会目標・方針発表報告	
2014年度強化競技者・ディベロプメントアスリート専任コーチ会議報告	
2014年度強化競技者・ディベロプメントアスリート研修会報告	
ホクレン・ディスタンスチャレンジ2014大会要項.....	204
JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会専門科目講習開催要項.....	205
施設用器具委員会報告(13-2)(施設用器具委員会).....	206
国際陸上競技連盟(IAAF) マスターズコミッション報告 (IAAF マスターズコミッション委員 室伏重信).....	208
2014数字で見る陸上競技Vol.1 都道府県公認競技会数.....	209
大会観戦ガイド.....	210
陸協NEWS.....	212
事務局からのお知らせ.....	214

## 公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

# 第17回アジア競技大会(2014/仁川)マラソン日本代表選手

9月27日から10月3日まで韓国・仁川で開催される第17回アジア競技大会。  
マラソンの日本代表選手を紹介します。

## 【男子2名】



**松村 康平** (まつむら・こうへい)  
三菱重工長崎・長崎  
1986年11月25日生(27歳)  
176cm・59kg  
高槻市立芝谷中学校(大阪)→清  
風高校(大阪)→山梨学院大学→  
三菱重工長崎

**指導者** 中学校：陸上部 竹口恵子  
高校：陸上部 宮本志郎  
大学：陸上部 上田誠仁

**選考大会結果**：2014東京マラソン 8位  
(日本人1位) 2時間08分09秒

**アジア大会出場回数**：初出場

**自己ベスト**：2時間08分09秒(2014東京マラソン)

**主な実績**：2012年別府大分毎日マラソン 4位  
(大会に向けての抱負)

自身にとって初めての日本代表・日本以外でのレース  
となりますが、それに臆することなく、優勝を狙って走  
ります。

### 〈種目の魅力〉

レース本番の走り方や給水、また、レースを走るまで  
の練習の取り組み方など、選手それぞれが自分のスタイル  
を持っており、全く同じものがないところ。



**川内 優輝** (かわうち・ゆうき)  
埼玉県庁・埼玉  
1987年3月5日生(27歳)  
175cm・62kg  
鷲宮町立鷲宮中学校(埼玉)→春  
日部東高校(埼玉)→学習院大学  
→埼玉陸協→埼玉県庁

**指導者** 中学校：陸上競技部 大表、田村  
高校：陸上競技部 菅原、贅田  
大学：陸上競技部 津田、福永

**選考大会結果**：2013福岡国際マラソン 3位  
(日本人1位) 2時間09分05秒

**アジア大会出場回数**：初出場

**自己ベスト**：2時間08分14秒

(2013ソウル国際マラソン)

**主な実績**：2011年世界選手権 マラソン 18位  
2012年世界ハーフマラソン選手権 21位  
2013年世界選手権 マラソン 18位

### 〈大会に向けての抱負〉

アジア大会で優勝し、手に入れた金メダルを日本中の方  
々々にお見せしたい。

### 〈種目の魅力〉

「速さ」と「強さ」は必ずしも「イコール」ではなく、  
レース展開・体調・コンディションなどによって、結果  
が大きく変わってくる。



【女子2名】



**木崎 良子**（きざき・りょうこ）  
ダイハツ・大阪  
1985年6月21日生（28歳）  
157cm・43kg  
与謝野町立江陽中学校（京都）→  
宮津高校（京都）→佛教大学→ダイハツ

**指導者** 中学校：バスケットボール部 野村力  
高校：陸上部 北野剛教  
大学：陸上部 森川賢一

**選考大会結果**：2014名古屋ウィメンズマラソン 3位  
（日本人1位）2時間25分26秒

**アジア大会出場回数**：2大会連続2回目（2014・2010）  
\*前は5000mでの出場

**自己ベスト**：2時間23分34秒  
（2013名古屋ウィメンズマラソン）

**主な実績**：2010年アジア大会 5000m 8位入賞  
2012年ロンドンオリンピック  
マラソン 16位  
2013年世界選手権 マラソン 4位入賞

〈大会に向けての抱負〉

粘り強い走りをして、メダルを取れるようがんばります。

〈種目の魅力〉

ゴールするまで諦めないでいれば結果がついてくる競技だと思います。笑顔と感謝の気持ちを忘れず、最後まで諦めない走りをしたいと思います。



**早川 英里**（はやかわ・えり）  
TOTO・東京  
1981年11月15日生（32歳）  
153cm・42kg  
世田谷区立喜多見中学校（東京）→  
駒場高校（東京）→成蹊大学→アミノバイタルAC→東京陸協→TOTO

中学校：陸上部、高校：陸上部、大学：陸上部  
**選考大会結果**：2014名古屋ウィメンズマラソン 4位  
（日本人2位）2時間25分31秒

**アジア大会出場回数**：初出場

**自己ベスト**：2時間25分31秒  
（2014名古屋ウィメンズマラソン）

**主な実績**：2005年シカゴマラソン 5位  
2013年名古屋ウィメンズマラソン 5位  
2013年ベルリンマラソン 7位

〈大会に向けての抱負〉

日本代表としてレースに臨むのは初めてですが、周りの選手に臆することなく、自分の力を最大限発揮し、表彰台を目指して挑戦します。

〈種目の魅力〉

マラソンはまぐれで走れる競技ではなく、練習の成果が反映され、また、経験を積み重ねる度に、成長できた達成感を得ることができます。同時に、新たな課題に直面することになり、常に目標ができ、挑戦し続けたいくなります。



# 強化関連情報

強化委員会

## 第21回世界ハーフマラソン選手権大会報告

強化副委員長 酒井勝充（日本代表選手団監督）

- 期 日：2014年3月29日（土）  
派遣期間：3月24日（月）～31日（月）
- 場 所：デンマーク・コペンハーゲン
- 選手団役員

選手団役職	氏名	役職
団長	三宅 勝次	日本陸上競技連盟 副会長
監督	酒井 勝充	日本陸上競技連盟 強化委員会 副委員長/中長距離・ ロード部門 統括
男子コーチ	藤田 敦史	富士通陸上競技部 長距離コーチ
女子コーチ	山下佐知子	日本陸上競技連盟 強化委員会 女子中長距離・マラソン部副部長
ドクター	難波 聡	日本陸上競技連盟 医事委員会 委員
トレーナー	吉住巳佐世	日本陸上競技連盟 医事委員会トレーナー部員
渉外	秋和美穂子	日本陸上競技連盟 事務局

## 4. 成績：

(男子)		
氏名	所属	成績
菊地 賢人	コニカミノルタ	18位 1時間01分23秒
		14'31/28'53 (14'22) /43'28 (14'35) /58'14 (14'46) / (3'09)
中村 匠吾	駒澤大学	28位 1時間01分57秒 (自己最高記録)
		14'30/28'45 (14'15) /43'36 (14'51) /58'49 (15'13) / (3'08)
井上 大仁	山梨学院大学	36位 1時間02分25秒
		14'32/29'28 (14'56) /44'23 (14'55) /59'17 (14'54) / (3'08)
星 創太	富士通	53位 1時間03分29秒
		14'31/28'49 (14'18) /44'09 (15'20) /59'59 (15'50) / (3'30)
村山 謙太	駒澤大学	56位 1時間03分52秒
		14'30/29'28 (14'58) /44'43 (15'15) /1'00'39 (15'56) / (3'13)
団体 (上位 3名合計)	6位 3時間05分45秒	

(女子)		
氏名	所属	成績
野村 沙世	第一生命	15位 1時間10分18秒
		16'27/33'07 (16'40) /49'47 (16'40) /1'06'43 (16'56) / (3'35)
竹中 理沙	資生堂	17位 1時間10分30秒
		16'19/32'51 (16'32) /49'39 (16'48) /1'06'37 (16'58) / (3'53)
岩出 玲亜	ノーリツ	19位 1時間10分45秒
		16'18/32'51 (16'33) /49'46 (16'55) /1'07'07 (17'21) / (3'38)
城戸智恵子	キャノンAC九州	24位 1時間11分17秒
		16'15/32'51 (16'36) /49'54 (17'03) /1'07'30 (17'36) / (3'47)
山崎 里菜	パナソニック	48位 1時間14分20秒
		16'40/33'51 (17'11) /51'34 (17'43) /1'10'13 (18'39) / (4'07)
団体 (上位 3名合計)	3位 3時間31分33秒	

## 5. 目標、評価、分析

### (1) 目標

女子：個人8位入賞・団体3位入賞

男子：個人8位入賞・団体5位入賞

を目標に掲げレースに臨んだ。

### (2) 評価

女子は、個人で野村選手が15位であったが、団体で3位を確保し前大会に引き続き表彰台に上がった。しかし、10代～20代半ばの選手が中心だったのでもう少し自己最高記録更新の声を聴きたかった。

男子は、個人で菊地選手の18位が最高で目標達成はならなかった。また団体においても6位入賞で目標にはひとつ及ばなかった。その中で、菊地選手の自己最高記録に迫る好タイムと中村選手の自己最高記録更新を世界の大きな舞台で出した事は評価出来る。

### (3) 分析

今回の大会は、コース設定や気象条件が良かった為、レベルが高かった。レースを振り返ると男女とも、先頭集団が10キロ過ぎから急激にペースを上げ、後半の10キロが前半より速い展開となった。参加した日本人選手のレベルを考えると非常に厳しいレース展開だったと考えられる。

### (4) 優勝者のスプリット

	5k	10k	15k	20k	GOAL
女子	16'14	32'14 (16'00)	48'08 (15'54)	1'04'04 (15'56)	1'07'29 (3'25)
男子	14'30	28'41 (14'11)	42'26 (13'45)	56'13 (13'47)	59'08 (2'55)

### (5) 選手の自己評価

#### ・野村沙世

1時間09分台を目標にしていたが、前半のペースについていくことが出来ず残念だった。しかし、セカンド記録を出せたことは成果であった。

#### ・竹中理沙

悔しい結果となったが、今回の経験が良い勉強となった。

#### ・岩出玲亜

初めての海外レースだったが落ち着いて走れた。成績に満足していないが得るものが多くあった。

#### ・城戸智恵子

国内レースと違う雰囲気の中、積極的に走ることが出来たが、後半、粘ることが出来ず残念だった。

#### ・山崎里菜

世界の舞台で自分の力を発揮出来なかった事が悔しく思う。今回の失敗を今後に活かしたい。



団体が3位に入った女子の表彰式

・ 菊地賢人

初めての海外レースで高揚感が高まる中でのレースとなった。外国人選手のペースの上げ下げが激しく、大きく疲労した。今回のレースでまだまだ世界と戦うには実力不足と感じた。今回の経験を今後活かしたい。

・ 中村匠吾

結果として納得いくものでは無かったが、海外遠征を経験する重要性を感じた。今後は、スピード持続力を強化していきたい。

・ 井上大仁

狙っていた自己ベストからも大幅に遅れ、力不足を感じた。しかし、後半大崩れすることなく終盤まで粘りの走りが出来たことは収穫だった。

・ 星 創太

初の世界大会ではあったが、過度の緊張もなく良い状態で臨むことが出来た。序盤から積極的にレースを進めたが、後半大きくペースを下げたことが課題であるので今後活かしたい。

・ 村山謙太

4回目の海外遠征だったが、レース直前で体調を崩してしまい不本意な結果になってしまった。国内外でレベルの高い結果を出せるように精神面及び肉体面の強化を実施していきたい。

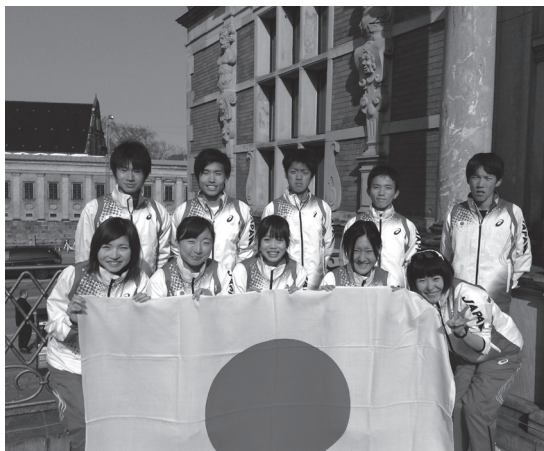
6. 試合までのトレーニング、現地調整について

(1) 試合までのトレーニング

世界ハーフに向け、ほとんどの選手が陸連合宿(延岡)をはじめとする各チームでの強化練習を順調に消化し、トレーニングを積んで臨めた。

(2) 現地調整

練習・食住環境に比較的恵まれており、落ち着いて調整を行うことが出来た。練習環境としては、競技場が宿舍から5キロ程度の場所であった事と、近くに大きな公園があり、路面が柔らかな土だったため、脚に



世界ハーフマラソン日本代表選手

負担をかけることなくトレーニングを実施することが出来た。食事に対して選手から不満の声も多少あったが、日本から準備していたレトルト食品(丼物)があり、対応出来た。

7. その他、所感

- (1) 今後、オリンピック、世界選手権など順位が重要視される大会は、後半一気にペースが上がる事が想定され、それに対応することが必須である。今回の経験を踏まえ、それぞれの競技者や指導者が、今後世界と戦っていくための対策を講じることが大事である。
- (2) 海外のレースに臨むにあたり、日本のようにすべて整えられた環境でレースが出来る事はほとんど無いと考え、違った環境の中で結果を出すためには、普段から高い対応力、強い精神力を磨く事が必要である。
- (3) 今回の大会では、ドーピング検査(血液検査)が競技会前に実施され、競技会前のドーピング検査がスタンダードになりつつあり、検査に対する認識を高める必要性を感じた。

2014年度 強化委員会目標・方針発表報告

開催日時: 2014年3月31日(月) 16:00~17:30

開催場所: 味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室

出席者: 強化委員会委員長、副委員長、部長、幹事 原田強化委員長より、以下の点が説明された。

1. 重点競技会においてより高い成果を上げる

- (1) 第17回アジア競技大会(2014/仁川)  
目標: 金メダル10個
- (2) 第1回世界リレー大会(2014/ナッソー)  
目標: 8位入賞。世界選手権大会(2015/北京)の出場権獲得。

## 2. 一貫した強化対策の確立

### (1) 強化競技者の重点強化

(2) マラソン復活 ナショナルマラソンチームの活動を活発化させる

(3) リレー大国を目指す ナショナルリレーチームの活動を活発化させる

(4) 選考ロードマップの周知 より早期に選考方針を発表することで、競技者および専任コーチへの情報提供に意を尽くす

### 3. 個々の競技者の国際的競技力向上

(1) ディベロップメント・アスリートやりオデジャネイロオリンピック育成競技者（U23）を中心として、海外での競技会に単身で派遣する。

### 4. 2020年東京オリンピックに向けた取り組み

今年度から2020強化育成オリンピック対策プロジェクトに着手する

- ・タレントマネージャーの設置
- ・種目トランスファーマップの作成

これらの説明のあと、フロアから質問を受け付け、アジア競技大会での目標（金メダル10個）の内訳等について質問がなされた。

## 2014年度 強化競技者・ディベロップメントアスリート専任コーチ会議報告

開催日時：2014年4月2日（水）11：00～12：00

開催場所：味の素ナショナルトレーニングセンター  
大研修室

出席者：強化競技者・ディベロップメントアスリート専任コーチ

### 議題

#### 1. 2014年度強化目標・方針発表

原田強化委員長より、2014年度の強化目標方針が発表され、今年度開催される重点国際大会である第17回アジア競技大会および第1回世界リレー大会における目標が報告された。

#### 2. リオデジャネイロオリンピックに向けた選考方針

原田強化委員長より、トラック&フィールド種目および競歩種目における第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)および第15回世界選手権大会(2015/北京)の代表選手選考方針について報告された。また、マラソンにおける第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)および第15回世界選手権大会(2015/北京)の代表選手選考方針についても報告された。

これについて、フロアからは、マラソンの選考方針に関する確認がなされた。

#### 3. 2014年度重点国際大会選考方針

原田強化委員長より、第17回アジア競技大会に向けた選考要項、派遣設定記録、大会日程について報告さ

表1 2014年度強化競技者・ディベロップメントアスリート専任コーチ会議出席者一覧

専任コーチ				
No.	氏名	指導競技者		
		氏名	選手所属	種目
1	永山 忠幸	福士加代子	ワコール	マラソン
2	今村 文男	鈴木 雄介	富士通	20km競歩
		森岡紘一郎	富士通	50km競歩
3	土江 寛裕	桐生 祥秀	東洋大学	100m
4	豊田 裕浩	飯塚 翔太	ミズノ	200m
5	山頭 直樹	中本健太郎	安川電機	マラソン
6	黒木 純	松村 康平	三菱重工長崎	マラソン
7	小坂 忠広	谷井 孝行	自衛隊体育学校	50km競歩
8	酒井 俊幸	西塔 拓己	東洋大学	20km競歩
		松永 大介	東洋大学	20km競歩
9	清水 茂幸	高橋 英輝	岩手大学	20km競歩
		木崎 良子	ダイハツ	マラソン
10	林 清司	岡 小百合	ダイハツ	10000m
		前田 彩里	ダイハツ	マラソン
11	川合伸太郎	山縣 亮太	慶應義塾大学	100m
12	菊部 俊二	小林 雄一	NTN	200m
		岸本 鷹幸	富士通	400mH
13	佐久間和彦	高瀬 慧	富士通	200m
		今関 雄太	渋谷幕張高校教員	400mH
14	磯松 大輔	宇賀地 強	コニカミノルタ	10000m
		設楽 啓太	コニカミノルタ	10000m
15	白水 昭興 (代理： 岡村高志)	黒崎 拓克	コニカミノルタ	マラソン
		佐藤 悠基	日清食品グループ	5000m・ 10000m
16	佐藤 敏信	大迫 傑	日清食品グループ	5000m・ 10000m
		宮脇 千博	トヨタ自動車	マラソン・ 10000m
17	大澤 陽祐	窪田 忍	トヨタ自動車	10000m
		設楽 悠太	Honda	10000m
18	宗 猛	石川 未廣	Honda	マラソン
		堀端 宏行	旭化成	マラソン
19	綾部 健二	酒井 将規	九電工	マラソン
		前田 和浩	九電工	マラソン
20	奥谷 亘	小林 光二	SUBARU	マラソン
21	平田 和光	荒井 広宙	自衛隊体育学校	50km競歩
22	岡田 雅次	海老原有希	スズキ浜松AC	やり投
23	河野 匡	伊藤 舞	大塚製薬	マラソン・ 10000m
24	武富 豊 (代理： 篠原太)	小原 怜	天満屋	10000m
		重友 梨佐	天満屋	マラソン
25	若松 誠	井上 麗	天満屋	20km競歩
		高島 由香	デンソー	10000m
26	山下佐知子	田中 智美	第一生命	マラソン
27	山本 光宏	早川 英里	TOTO	マラソン

れた。なお、選考要項については、日本陸連のウェブサイトに掲載されているために割愛するが、派遣設定記録のAとBが設定されていることなどが報告された。

#### 4. 2014年度日本陸連強化競技者制度について

事務局の平野幹事より、強化競技者規定、標準記録、処遇に関する細則、味の素NTC、JISSの利用について、Athletes Representativesについて、選手会について報告された。フロアより、選手会に関していくつかの

表2 2014年度強化競技者・ディベロップメントアスリート  
研修会 出席者一覧

強化委員会		
No.	氏名	役職
1	原田 康弘	強化委員会 委員長
2	木内 敏夫	強化委員会 副委員長
3	酒井 勝充	強化委員会 副委員長
4	山崎 一彦	強化委員会 副委員長
5	永井 立子	強化委員会 副委員長
6	土江 寛裕	強化委員会 男子短距離部 副部長
7	宗 猛	強化委員会 男子中長距離・マラソン部 部長
8	吉川 三男	強化委員会 男子中長距離・マラソン部 幹事
9	河野 匡	強化委員会 女子中長距離・マラソン部 副部長
10	谷川 聡	強化委員会 ハードル部 部長
11	等々力信弘	強化委員会 投擲部 副部長
12	今村 文男	強化委員会 競歩部 部長
13	木越 清信	強化委員会 幹事

質問がなされた。

### 5. アンチ・ドーピングについて

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構の井上健氏よりアンチ・ドーピングに関する情報提供を行った。

## 2014年度 強化競技者・ディベロップメント

### アスリート研修会報告

開催日時：2014年4月2日（水）14：00～16：30

開催場所：ナショナルトレーニングセンター 大研修室

出席者：強化競技者・ディベロップメントアスリート  
議題

- 2014年度強化目標・方針発表
- リオデジャネイロオリンピックに向けた選考方針
- 2014年度重点国際大会選考方針
- 2014年度日本陸連強化競技者制度について
- アンチ・ドーピングについて

※専任コーチ会議同様、原田強化委員長よりリオデジャネイロオリンピックに向けた強化方針等の説明があった。

### 6. 選手会について

### 7. 講演

室伏広治選手「アスリートのセルフマネジメントとピーキングについて」

ロバート・オオハシ氏「怪我をしない身体づくり～ムーブメントの改善」

※強化競技者（ゴールド・シルバー）は、ロバート・オオハシ氏によるトップアスリートエバリュエーションを実施（4月2～3日）。

No.	氏名	所属	種目
1	室伏 広治	ミズノ	ハンマー投
2	鈴木 雄介	富士通	20km競歩
3	桐生 祥秀	東洋大学	100m
4	中本健太郎	安川電機	マラソン
5	松村 康平	三菱重工長崎	マラソン
6	山本 聖途	トヨタ自動車	棒高跳
7	谷井 孝行	自衛隊体育学校	50km競歩
8	西塔 拓己	東洋大学	20km競歩
9	高橋 英輝	岩手大学	20km競歩
10	藤澤 勇	ALSOK	20km競歩
11	木崎 良子	ダイハツ	マラソン
12	山縣 亮太	慶應義塾大学	100m
13	小林 雄一	NTN	200m
14	高瀬 慧	富士通	200m
15	藤光 謙司	ゼンリン	200m
16	佐藤 悠基	日清食品グループ	5000m・10000m
17	宇賀地 強	コニカミノルタ	10000m
18	鎧坂 哲哉	旭化成	10000m
19	宮脇 千博	トヨタ自動車	マラソン・10000m
20	中村 匠吾	駒澤大学	10000m
21	小林 光二	SUBARU	マラソン
22	黒崎 拓克	コニカミノルタ	マラソン
23	酒井 将規	九電工	マラソン
24	石川 末廣	Honda	マラソン
25	今井 正人	トヨタ自動車九州	マラソン
26	佐々木 悟	旭化成	マラソン
27	前田 和浩	九電工	マラソン
28	堀端 宏行	旭化成	マラソン
29	岸本 鷹幸	富士通	400mH
30	戸邊 直人	筑波大学	走高跳
31	萩田 大樹	ミズノ	棒高跳
32	海老原有希	スズキ浜松AC	やり投
33	松永 大介	東洋大学	20km競歩
34	荒井 広宙	自衛隊体育学校	50km競歩
35	森岡紘一朗	富士通	50km競歩
36	井上 麗	天満屋	20km競歩
37	高島 由香	デンソー	10000m
38	岡 小百合	ダイハツ	10000m
39	小原 怜	天満屋	10000m
40	重友 梨佐	天満屋	マラソン
41	早川 英里	TOTO	マラソン
42	田中 智美	第一生命	マラソン
43	前田 彩里	ダイハツ	マラソン

	No.	氏名	役職
強化委員会	1	原田 康弘	強化委員会 委員長
	2	木内 敏夫	強化委員会 副委員長
	3	酒井 勝充	強化委員会 副委員長
	4	山崎 一彦	強化委員会 副委員長
	5	永井 立子	強化委員会 副委員長
	6	土江 寛裕	強化委員会 男子短距離部 副部長
	7	宗 猛	強化委員会 男子中長距離・マラソン部 部長
	8	吉川 三男	強化委員会 男子中長距離・マラソン部 幹事
	9	吉田 孝久	強化委員会 跳躍部 部長
	10	等々力信弘	強化委員会 投擲部 副部長
	11	今村 文男	強化委員会 競歩部 部長
	12	木越 清信	強化委員会 幹事

	No.	氏名	所属
講師	1	ロバート・オオハシ	Performance in Motion Rehabilitation, Inc.
通訳	2	高谷 温子	中京大学スポーツ振興室CISP

# ホクレン・ディスタンスチャレンジ2014大会要項

## 1. 主催

北海道陸上競技協会

## 2. 共催

日本実業団陸上競技連合、深川市、士別市、北見市、網走市

## 3. 主管

道北陸上競技協会、空知陸上競技協会、オホーツク陸上競技協会

## 4. 後援

北海道新聞社、北海道文化放送、読売新聞社

## 5. 協賛

ホクレン

## 6. 運営協力

日本陸上競技連盟・強化委員会

## 7. 会場・期日・種目

会場	場所	期日	種目	
			男子	女子
第1戦・深川大会	深川市 陸上競技場	6月25日(水)	1500m、 5000m、 10000m	1500m、 3000m、 10000m
第2戦・士別大会	士別市 陸上競技場	6月28日(土)	1500m、 3000m、 5000m	1500m、 3000m、 5000m
第3戦・北見大会	北見市 東陵公園 陸上競技場	7月2日(水)	800m、 1500m、 3000m、 5000m	800m、 1500m、 3000m、 5000m
第4戦・網走大会	網走市営 陸上競技場	7月6日(日)	800m、 1500m、 5000m、 10000m	800m、 1500m、 5000m、 10000m

※ 1 ペースメーカーは、主催者が準備する。

①主催者が準備するペースメーカー以外は認めない。

②設定ペースについては、事前に協議し決定する。

## 8. 参加資格

- (1) 2014年度日本陸上競技連盟登録競技者。
- (2) 2013年1月1日～2014年6月8日の間に標準記録に到達した者。(トラックのみ有効)
- (3) 参加標準記録

種目	男子	女子
800m	1'55"00	2'15"00
1500m	3'55"00	4'30"00
5000m	15'00"00	17'00"00
10000m	30'00"00	34'00"00

(4) 参加標準記録を設けない種目は、日本陸上競技連盟登録競技者に参加資格を与える。

(5) 北海道陸上競技協会が推薦する北海道陸上競技協会登録選手。

(6) 日本陸上競技連盟強化委員会が推薦する選手。

(7) 日本実業団陸上競技連合が推薦する選手。

## 9. 申込方法

大会webサイトより所定の様式をダウンロードし、e-mailで6月9日(月)18:00までに申し込む。

\* 欠場、種目変更の場合は、各大会の3日前(18:00)までに大会事務局に届け出る。

\* 直前の申し込みを認める。各大会の3日前(18:00)までに大会事務局に届け出る。

\* 欠場の場合も出場料は、徴収致します。

\* 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

## 10. 参加料

事前申し込み(申し込み締め切り日まで)

1種目につき1,000円

直前申し込み(申し込み締め切り後)

1種目につき2,000円

\* 参加料は当日会場で支払うこと。

## 11. 大会事務局

別途定める。

## 12. 強化費

(1) 大会強化費を支給する。(日本人選手のみ対象)

(2) 大会強化費支給基準は、別途定める。

(3) 大会強化費受給対象者から、該当大会終了後60日を超えて振込口座申請書の提出が無い場合は受給権を放棄したものとみなします。

## 13. 問い合わせ先

(1) エントリー関連担当

木路 (e-mail: kijisy@nifty.com)

(2) その他全般担当

日本陸連 事務局 三宅・藤代

TEL: 03-5321-6580 FAX: 03-5321-6591

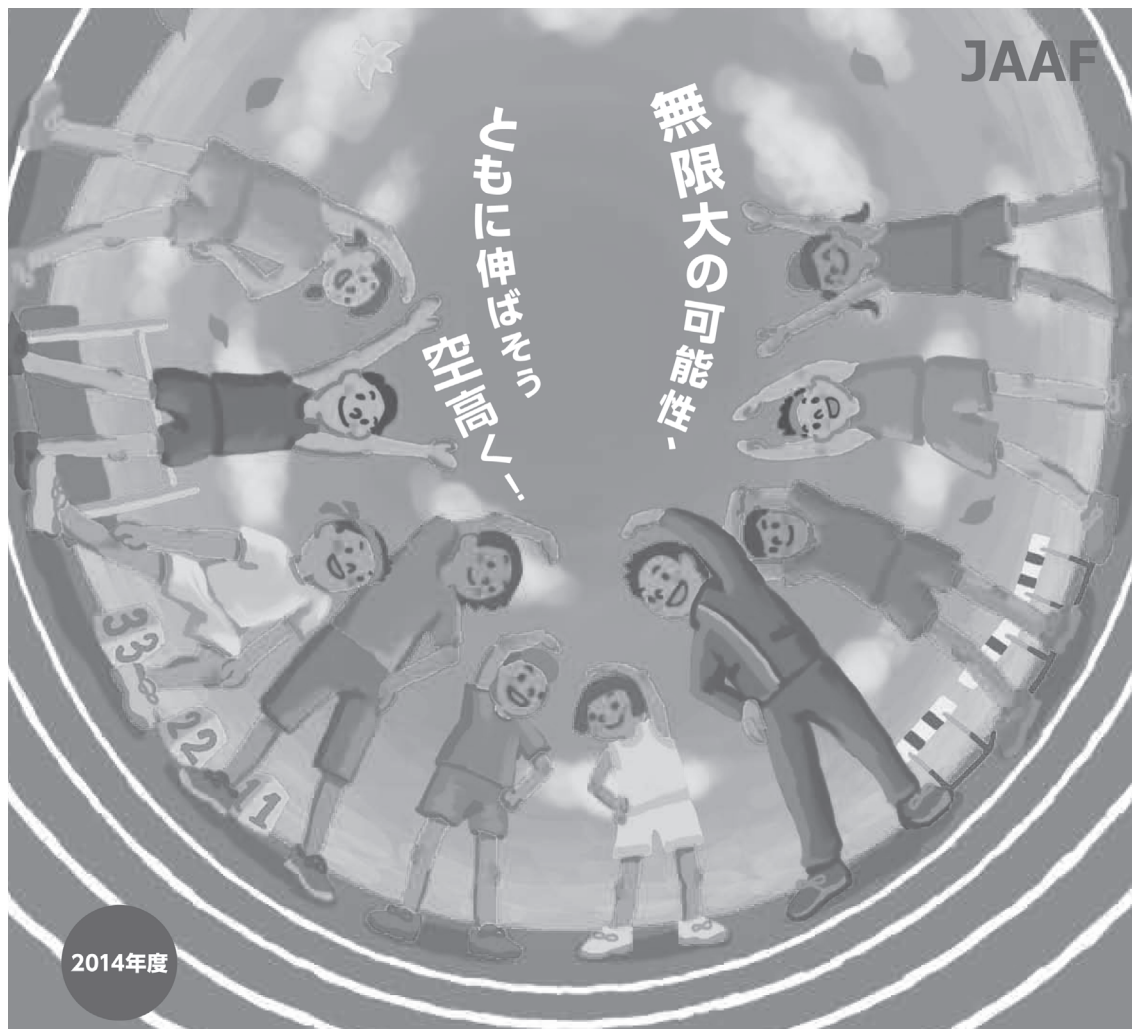
(e-mail: hokurendc2014@jaaf.or.jp)

以上



# 2014年度JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会 専門科目講習 開催要項

普及育成委員会



2014年度

## JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会

(日本体育協会公認陸上競技指導員)

### 専門科目講習 開催要項

#### 1. 講習概要

- (1) 共通科目 35h (NHK学園 通信講座)
- (2) 専門科目 40h (集合講習30h/その他10h)  
\*専門科目講習日程:各会場3~4日間、1日8~10時間(理論、実技講習)  
\*共通科目、専門科目講習は免除になる場合がある。
- (3) 受講料:共通科目 21,600円/専門科目 15,120円  
\*別途、指定の専門科目講習テキストを購入が必要。

#### 2. 開催地/会場

- 北海道/北海道教育大学岩見沢キャンパス ●岩手/岩手大学 ●福島/福島大学
- 新潟/新潟医療福祉大学 ●埼玉/上尾運動公園陸上競技場 ●東京/東京学芸大学(予定)
- 静岡/エコパスタジアム ●三重/三重県総合競技場 ●愛媛/ニンジニアスタジアム ●大阪/ヤンマーフィールド長居 ●兵庫/姫路市立陸上競技場 ●広島/広島大学東広島キャンパス
- 宮崎/宮崎県総合運動公園陸上競技場・宮崎県立看護大学



※日程については、公益財団法人日本陸上競技連盟HPをご覧ください。

主催 公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本体育協会

#### 3. 受講条件

- (1) 受講年度の4月1日現在、満18歳以上で現在陸上競技の指導に携わっている者。もしくは将来陸上競技の指導に携わることがある者(学生など)で、日本陸上競技連盟普及育成委員会が認める者。
- (2) 指定のカリキュラムについて、自身で選択した1会場にて全日程を受講すること。

#### 4. 申込書類請求方法

以下の内容を同封し、日本陸上競技連盟に申込書類を請求する。(※請求先は下記を参照のこと。)

- ◇切手を貼付した返信用封筒(※角2サイズ:A4用紙の大きさ。住所・氏名を記載。) \*切手料金:1部あたり140円(定形外郵便)
- ◇[氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・Eメールアドレス]を記載したメモなど。(※書式は問わない。)
- ◇申込書類の請求については、6月25日必着分を最終受付とする。

#### ＜申込書類 請求先＞

〒163-0717 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル7階  
日本陸上競技連盟 JAAF公認ジュニアコーチ係宛て  
\*E-mail・FAXでの受付は対応致しかねますのでご注意ください。

主管 公益財団法人日本陸上競技連盟普及育成委員会、開催陸上競技協会

# 施設用器具委員会報告(13-2)

施設用器具委員会

## ◆平成25年度に公認した競技場及び長距離競走路

(25.09.25～26.03.19)

- 8764 大東文化大学東松山キャンパス総合(グ) 東松山市岩殿560  
第4種 400m 全天候 継続 改造 2013.08.13～2018.08.12
- 8765 長野オリンピック記念(長) 長野(運)前～長野南交差点～  
長野オリンピックスタジアム内  
42km195 自転車計測 片道 継続 一部変更  
2013.11.01～2018.10.31
- 8766 北九州(長)  
北九州市役所前～A東港 B門司港～北九州国際  
コード番号407250 42km195 自転車計測 往復 新設 会議場前  
2013.09.25～2018.09.24
- 8767 森山総合公園(陸) 胆沢郡金ヶ崎町西根森山32-1  
第3種 400m 全天候 継続 2013.11.10～2018.11.09
- 8768 舎人公園(陸) 足立区舎人公園1-1  
第3種 400m 全天候 継続 2013.10.10～2018.10.09
- 8769 黒部(長)  
黒部市総合公園前～市道黒部宇奈月線～黒部市美術館前  
42km195 自転車計測 循環 継続 2013.11.20～2018.11.19
- 8770 七尾市城山(陸) 七尾市後島山部4-5  
第3種 400m 全天候 継続 2013.11.03～2018.11.02
- 8771 美咲町棚原の里(長)  
エイコンパーク入口～A美咲町大戸上 B美咲町王子  
C美咲町安井～さやかなる苑前  
42km195 21km0975 10km 往復 継続  
2013.11.01～2018.10.31
- 8772 嘉穂(長) 嘉穂(陸)～嘉麻市嘉穂(久保田)  
42km195 21km0975 自転車計測 循環 周回(マラソン) 継続  
2013.11.01～2018.10.31
- 8773 阿久根総合(運)(陸) 阿久根市赤瀬川2526-1  
第4種 400m 土質 継続 2012.10.08～2017.10.07
- 8774 龍郷(長) 奄美信用組合龍郷支店前～奄美市名護芦花部  
42km195 往復 継続 2013.10.01～2018.09.30
- 8775 環太平洋大学(陸) 岡山市東区瀬戸町観音寺721  
第4種 300m 全天候 継続 2013.10.22～2018.10.21
- 8776 三原(運)三原市(陸) 三原市沼田東町釜山253-1  
第4種 400m 土質 継続 2013.07.01～2018.06.30
- 8777 日南つわぶき(ハ) 日南総合(運)横公園大橋～日南総合(運)(陸)  
21km0975 循環 継続 2013.11.11～2018.11.10
- 8778 芦別市(陸) 芦別市上芦別町9  
第3種 400m 全天候 継続 2013.11.01～2018.10.31
- 8779 秋田県営(陸)付帯投てき場 秋田市雄和町椿川字駒坂4-1  
投てき場 継続 2013.11.01～2018.10.31
- 8779 千葉県総合スポーツセンター第2(陸) 千葉市稲毛区天台町323  
第3種 400m 全天候 継続 2013.11.01～2018.10.31
- 8780 公益財団法人伊丹スポーツセンター(陸) 伊丹市鴻池1-1-1  
第4種 400m 土質 継続 2013.10.01～2018.09.30
- 8781 兵庫県加西市立善防中学校 加西市両月町484-2  
第4種 200m 土質 継続 2013.10.10～2018.10.09
- 8782 小野市大池総合公園(陸) 小野市王子町字新林917-1  
第4種 300m 土質 継続 2013.10.01～2018.09.30
- 8783 まつえレディース(ハ)  
松江城大手前駐車場～松江市玉湯町布志名  
21km0975 10km 自転車計測 循環 一部往復 継続  
2013.10.01～2018.09.30
- 8784 浜中(運)(陸) 留萌市浜中町  
第4種 400m 一部全天候 継続 2013.10.05～2018.10.04
- 8785 北海道大学(陸) 札幌市北区北17条西12丁目  
コード番号014300 第4種条件付 400m 土質 新設  
2013.11.15～2018.11.14
- 8786 別海町パイロット(長) 別海町営(陸)～矢白別地区1号幹線  
42km195 自転車計測 往復 継続 2013.11.19～2018.11.18
- 8787 前橋・渋川シティ(長) 前橋公園南道路～  
A前橋市田口町 B渋川市役所第2庁舎前～中央大橋東詰  
コード番号107120 42km195 循環 新設  
2013.12.01～2018.11.30
- 8788 新宿シティ(ハ) 国立霞ヶ丘(陸)～神宮外苑菟根杏並木  
21km0975 10km 自転車計測 循環 継続 一部変更  
2013.12.25～2018.12.24

- 8789 胎内市(20km) 胎内市総合(グ)(陸)～胎内市村松浜  
20km 往復 継続 2013.11.01～2018.10.31
- 8790 菅平スポーツランド(陸) 上田市菅平高原1278-224  
第3種 400m 全天候 継続 2013.10.10～2018.10.09
- 8791 水戸千波湖(10km) 水戸市内借楽園(園路～四季の原)  
10km 周回 継続 一部変更 2014.01.01～2018.12.31
- 8792 勝田全国(長) ひたちなか市表町商店街～石川運動ひろば  
42km195 10km 自転車計測 循環 継続  
2014.02.11～2019.02.10
- 8793 小江戸川越(ハ)  
川越水上公園～A川越北環状線北側 B鯨井中学校前  
コード番号117060 21km0975 自転車計測 循環 一部往復 新設  
2013.12.10～2018.12.09
- 8794 鳥取県立布勢総合(運)補助(競) 鳥取市布勢146-1  
第3種 400m 全天候 継続 2013.12.23～2018.12.22
- 8795 津和野中学校(グ) 鹿足郡津和野町田イ26  
第4種条件付 200m 土質 継続 2013.12.01～2018.11.30
- 8796 宿毛市総合(運)(陸) 宿毛市山奈町若菜4024  
第3種条件付 400m 全天候 継続 2013.12.07～2018.12.06
- 8797 おおいた(ハ) 大分市営(陸)～大分市日吉町  
21km0975 10km 自転車計測 往復 継続 一部変更  
2014.01.01～2018.12.31
- 8798 東北町北総合(運)(陸) 上北郡東北町字外姥沢前77-45  
第3種 400m 全天候 継続 2013.12.01～2018.11.30
- 8799 相模原麻溝公園第2(競) 相模原市南区下溝4169番地内  
コード番号144030 第4種 400m 全天候 新設  
2013.12.20～2018.12.19
- 8800 静岡(長) 静岡市葵区役所前～A井ノ宮郵便局前 B静岡バイパス前  
C駒越西2先 D蛇塚交差点～清水テルサ手前路上  
コード番号217190 42km195 自転車計測 片道 新設  
2014.01.01～2018.12.31
- 8801 皇子山総合(運)(陸) 大津市御陵町4-1  
第1種(B・多) 400m 全天候 継続 2013.12.20～2018.12.19
- 8802 書写・夢前(10哩) 姫路市御立(書写橋東詰北)  
～姫路市書写(東洋大学付属姫路高校内)  
10哩 循環 継続 2014.02.02～2019.02.01
- 8803 神崎山公園(競) 岡山市神崎町744  
第3種 400m 全天候 継続 2014.01.31～2019.01.30
- 8804 公認祐徳(ハ) 鹿島市林業体育館前～塩田町下野辺田  
21km0975 10km 自転車計測 往復 継続 一部変更  
2013.12.27～2018.12.26
- 8805 宮崎県総合(運)(陸) 宮崎市大字熊野1443-12  
第1種 400m 全天候 継続 2014.01.10～2019.01.09
- 8806 NAHA マラソン平和祈念公園(長)  
国道58号線明治橋交差点～奥武山(陸)  
42km195 自転車計測 循環 継続 2013.12.20～2018.12.19
- 室内72 ベルアスレティクスジャパン(室内棒高跳場)  
北群馬郡吉岡町漆原1555-2  
室内棒高跳 継続 2014.02.01～2019.01.31
- 8807 キタ(ハ) 新荒川大橋野球場～朝霞水門先  
コード番号137490 21km0975 10km 自転車計測 往復 新設  
2013.12.14～2018.12.13
- 8808 群馬県営補助(陸) 前橋市敷島町66  
第3種 400m 全天候 継続 2014.01.10～2019.01.09
- 8809 富山県総合(運)補助(競) 富山市南中田368  
第3種 400m 全天候 継続 2013.09.30～2018.09.29
- 8810 国営昭和記念公園マスターズ(ハ)  
国営昭和記念公園うんどう広場イチョウ並木  
～国営昭和記念公園うんどう広場内  
21km0975 10km 自転車計測 周回 継続  
2013.10.01～2018.09.30
- 8811 ウェーブスタジアム刈谷 刈谷市築地町荒田1  
第3種 400m 全天候 継続 2014.04.01～2019.03.31
- 8812 鳥取砂丘山陰海岸・因幡万葉の里(長) 鳥取砂丘オアシス広場前  
～鳥取県立布勢総合(運)(陸)  
コード番号317150 42km195 自転車計測 片道 新設  
2014.01.18～2019.01.17
- 8813 香川高等専門学院詫間キャンパス(陸) 三豊市詫間町香田551  
第4種 300m 土質 継続 2013.02.26～2018.02.25

8814	ランニング桜島(ハ) 21km0975 10km 一部循環 往復	桜島横山町～A桜島二俣町1～ B桜島赤生原町～桜島横山町多目的広場	継続	2014.03.01～2019.02.28	
8815	富津臨海(陸) 第3種 400m	富津市新富146-2	継続	2013.08.01～2018.07.31	
8816	佐倉市公認(長) 岩名(運)(陸)～ 42km195 10km 自転車計測 循環	岩名(運)(陸)～	継続	2014.03.05～2019.03.04	
8817	日本大学(陸) コード番号134230 第4種条件付	世田谷区桜上水3-24-22	継続	2014.03.01～2019.02.28	
8818	東京学芸大学周回路(10km) 10km 周回(1.3502km)	東京学芸大学野球場南側道路～講義棟5号館前道路	継続	2014.02.25～2019.02.24	
8819	秦野市中央(陸) コード番号143170 第3種 400m	秦野市平沢148	継続	2013.04.05～2018.04.04	
室内73	大阪城ホール 室内73 16 B種 160m 新設	大阪市中央区大阪城3-1	新設	2014.02.08～2014.02.09	
室内74	観音寺市立総合体育館室内棒高跳場 室内74 室内棒高跳 継続	観音寺市池之尻町1071	継続	2014.02.01～2019.01.31	
8820	上天草市松島総合(運)(陸) 第4種 400m 土質 継続	上天草市松島町合津4276-44	継続	2014.03.01～2019.02.28	
8821	宮崎県総合(運)第三(競) 第3種 400m 全天候 継続	宮崎市大字熊野字藤兵衛中州	改造	2013.09.01～2018.08.31	
8822	石岡市(運)(陸) 第3種 400m 全天候 継続	石岡市南台3-34-1	継続	2013.10.01～2018.09.30	
8823	岩名(運)(陸) 第3種 400m 全天候 継続	佐倉市岩名	継続	2013.07.01～2018.06.30	
8824	日産フィールド小机 第3種 400m 全天候 継続	横浜市港北区小机町3300	継続	2013.06.15～2018.06.14	
室内75	梅村学園室内棒高跳場 室内75 室内棒高跳 新設	豊田市貝津床1101	新設	2014.03.01～2019.02.28	
8825	足利市総合(運)(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	足利市田所町1123	継続	2014.04.01～2019.03.31	
8826	佐野市(運)(陸) 第2種(B・多) 400m 全天候 継続	佐野市赤見町2130-2	継続	2014.03.30～2019.03.29	
8827	江戸川区(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	江戸川区清新町2-1-1	継続	2014.05.24～2019.05.23	
8828	都立大井ふ頭中央海浜公園(陸) 第3種 400m 全天候 継続	品川区八潮4-1-19	継続	2014.03.31～2018.03.30	
8829	葛飾区総合スポーツセンター(陸) 第4種 400m 全天候 継続	葛飾区奥戸7-17-1	継続	2014.04.04～2019.04.03	
8830	相模原市ギオンスタジアム 第2種 400m 全天候 継続	相模原市南区下溝4169	継続	2014.04.01～2019.03.31	
8831	長野車いす(ハ) 21km0975 自転車計測 片道	長野赤十字病院前交差点～ 南大塚交差点～長野オリンピックスタジアム前	継続 一部変更	2014.04.01～2019.03.31	
8832	焼津市総合(グ) 第4種 400m 土質 継続	焼津市保福島950-1	継続	2014.03.22～2019.03.21	
8833	四日市市中央緑地(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	四日市市日永東1-3-21	継続	2014.03.15～2019.03.14	
8834	四日市市サルビア(10km) 10km 循環 継続 一部変更	中央緑地(陸)～	継続 一部変更	2014.03.15～2019.03.14	
8835	びわ湖毎日(長) 皇子山総合(運)(陸)～新瀬田浄水場前 42km195 自転車計測 往復	皇子山総合(運)(陸)～新瀬田浄水場前	継続 一部変更	2014.03.02～2019.03.01	
8836	南山スポーツ公園(陸) 第4種 400m 土質 継続	日高郡日高川町大字和佐2223-5	継続	2014.04.01～2019.03.31	
8837	岡山県津山(陸) 第2種 400m 全天候 継続	津山市志戸部2-1	改造	2014.03.25～2019.03.24	
8838	倉敷(運)(陸) 第2種(B) 400m 全天候 継続	倉敷市四十瀬4	改造	2014.04.01～2019.03.31	
8839	呉市総合スポーツセンター(陸) 第3種 400m 全天候 継続	呉市郷原町ワラヒノ山地内	継続	2014.03.01～2019.02.28	
8840	三隅総合(運) 第4種 400m 土質 継続	長門市三隅中1379	継続	2014.03.27～2019.03.26	

### ◆検定延期が承認されている競技場及び長距離競走路 (2014.03.19現在)

[北海道]	紋別市(陸)	第4種 400m	2013.08.14～2014.08.13
[岩手]	北上(陸)	第1種 400m	2013.04.01～2014.03.31
[岩手]	久慈市(陸)	第4種 400m	2013.09.01～2014.08.31

[宮城]	白石川緑地(陸)	第4種 400m	2013.11.28～2014.11.26
[福島]	とうほう・みんなのスタジアム	第1種 400m	2014.03.26～2014.04.30
[福島]	県営あづま(陸)補助	第3種 400m	2014.03.26～2014.04.30
[福島]	あぶくま高原いいたて(長)		2014.09.30～2015.04.29
[東京]	東京学芸大学(陸)	第4種 400m	2014.04.22～2015.03.31
[富山]	富山県総合(運)(陸)	第1種 400m	2013.09.30～2014.03.31
[石川]	石川県西部緑地公園(陸)	第1種 400m	2014.03.31～2014.05.30
[石川]	石川県西部緑地公園(陸)	第3種 400m	2014.03.31～2014.05.30
[石川]	石川県西部緑地公園(陸)付帯投てき場		2014.03.31～2014.05.30
[福井]	大野(ハ)		2013.12.01～2014.11.30
[広島]	三原(運)(陸)	第4種 400m	2013.07.01～2014.03.31
[愛媛]	しおさい公園伊予市民(競)	第4種 400m	2013.11.03～2014.11.01
[高知]	宿毛花へんろ(長)		2014.02.22～2015.02.21
[福岡]	福岡県立久留米スポーツセンター(陸)	第1種 400m	2013.07.30～2014.07.29
[福岡]	小郡(運)小郡市(陸)	第2種 400m	2014.02.28～2015.02.26
[長崎]	島原市営(陸)	第2種 400m	2013.04.01～2014.03.31
[熊本]	熊本市水前寺(競)	第2種 400m	2013.06.20～2014.06.19
[熊本]	熊本県立多良木高等学校運動場	第4種 300m	2013.07.07～2014.07.06
[熊本]	九州学院(陸)	第4種 300m	2013.09.01～2014.08.31

### ◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路 (2013.09.25～2014.03.19)

[北海道]	幕別(運)(陸)	第4種 400m	2013.07.31限り
[北海道]	別海町営(陸)	第4種 400m	2013.11.18限り
[宮城]	亘理(長)		2013.10.05限り
[山形]	楯岡中学校(陸)	第4種 400m	2013.11.19限り
[埼玉]	東洋大学川越キャンパス	第4種 400m	2014.01.25限り
[東京]	一橋大学(陸)	第4種 400m	2014.03.19限り
[東京]	立川・昭島(ハ)		2013.09.30限り
[福井]	美浜(20km)		2013.07.31限り
[愛知]	中京大学梅村(陸)付帯ハンマー投てき場		2013.09.30限り
[三重]	四日市市クスノキ(10km)		2014.03.14限り
[滋賀]	県希望ヶ丘文化公園(陸)	第4種 400m	2013.11.09限り
[滋賀]	余呉湖健康(ハ)		2013.11.30限り
[京都]	京都府立西舞鶴高校公認(陸)	第4種 300m	2013.10.09限り
[兵庫]	神戸全日本女子(ハ)		2013.10.14限り
[福岡]	大牟田市(15km)		2013.11.30限り
[宮崎]	宮崎女子(ハ)		2013.10.31限り
[宮崎]	日向市大王谷(運)(陸)	第4種 400m	2013.10.05限り

### ◆種別変更のあった競技場(2013.09.25～2014.03.19)

[東京]	日本大学(陸)	第3種⇒第4(降格)	コード番号134230
[神奈川]	秦野市中央(運)(陸)	第4種⇒第3(昇格)	コード番号143170

### ◆名称変更 (2013.09.25～2014.03.19)

[神奈川]	相模原麻溝公園(競)	⇒相模原ギオンスタジアム
[神奈川]	相模原麻溝公園第2(競)	⇒相模原ギオンフィールド
[新潟]	東北電力ビッグスワンスタジアム	⇒デンカビッグスワンスタジアム
[新潟]	東北電力スワンフィールド	⇒デンカスワンフィールド
[大阪]	長居(陸)	⇒ヤンマースタジアム長居
[大阪]	長居第2(陸)	⇒ヤンマーフィールド長居

# 国際陸上競技連盟 (IAAF) マスターズコミッション報告

室伏 重信 (IAAF マスターズコミッション委員)

2014年3月26日(水)～27日(木)、ハンガリー的首都ブダペストでIAAFマスターズコミッション会議が開催された。

## 【マスターズとは】

マスターズとは、35歳以上を対象とした年齢区分であり、競技会では、5歳刻みの種目が設定されている。世界的な健康志向の高まりを受けて、年々参加者が増加しているという。今回の会議は、IAAFの協力団体で、マスターズを統括する世界マスターズ陸上競技連盟(WMA)が主催する世界マスターズ室内選手権にあわせておこなわれたが、同選手権には世界各国から予想をはるかに上回る3,900名余が参加したため、5日間の期間中、早朝から深夜まで休みなく競技が実施されていた。

## 【委員会からコミッションへの移行】

IAAFで、マスターズに関わる案件を扱うのは、昨年までは、マスターズ委員会であった。委員会は、IAAF総会時の選挙で選出された委員によって構成されるが、より専門的な経験や知識が必要なマスターズ問題を審議検討するには、選挙で選ばれたメンバーでは不十分であるとの議論がIAAF内部であり、2011年IAAFテグ総会での決議をうけて、マスターズ委員会は2013年をもって廃止。本年からはIAAFカOUNCILが指名する委員で構成されるコミッションで、マスターズ案件を扱うことになっていた。

IAAFとWMAとの申し合わせにより、マスターズコミッションは、IAAF推薦4名とWMA推薦4名の計8名という少数により構成されると聞いていた。2007年の当選以来、2期6年の間、委員をつとめてきて、世界に多くの有能な人材がいることを実感していた私は昨年の委員会参加をもって、IAAFの活動は終了と確信していた。

ところが、昨年11月のIAAFカOUNCIL会議(理事会)で私が、IAAF推薦で委員に選ばれたとの連絡があり、たいへん驚かされた。

私が、委員に推薦された理由を考えるといくつかの理由が浮かんだ。ひとつは、過去2度の委員会選挙でトップ当選していたことで、世界各国の声を代弁することが期待されたのかもしれない。さらに過去、委員会会議で、私は一貫して、「マスターズは、その子供や孫世代にも目を向け、その橋渡しとなるべきこと」を訴えてきた。キッズアスレチックをはじめ若年層を陸上競技に引き入れようと様々な活動を実践しているIAAFが私の主張に共感を抱いてくれたということなのかもしれない。

委員会のメンバーは、委員会時代から引き続き委員長をつとめるIAAF推薦でメキシコのモレノ氏(男性)のほか、IAAF推薦委員が、イタリア(女性)、フランス(男性)、日本の私、WMA推薦が、同会長でオーストラリアのパーキン氏(男性)のほか、アメリカ(女性)、ドイツ(女性)、ベルギー(男性)であり、エリアバランスと男女比に配慮がなされていた。

## 【強烈な印象を受けた第1回会議】

第1回目の記念すべきコミッション会議は、イタリア人委員を除く7名とIAAFからガブリエル事務総長が参加しておこなわれたが、私にとって、たいへん印象深いものであり、予想をはるかにこえる充実した内容であった。過去6回出席した委員会会議は、報告事項が中心で、実のある議論は少なく、結論がみえにくいものであった。今回、驚いたのは、2日間にわたる会議で、すべての委員が積極的な議論を展開。実に前向きな意見交換が実現したことである。IAAFとWMAそれぞれが推薦したメンバーは、それぞれの経験や知識を背景に、具体的な例を挙げながら意見を述べていた。IAAFとWMAが、委員選抜にあたり、相当に慎重な検討を重ねたことは明らかであった。

私自身、委員会時代から主張し続けている「子供や孫の世代をマスターズ競技会に迎え入れる」アイデアなどを提案させていただいた。

## 【主要議題】

コミッションで議論された主要議題は、つぎの通りであるが、今回は第1回会議ということもあり、今後の方針策定に多くの時間を費やすこととなった。

### ◆コミッションの在り方

熱心な議論を経て、コミッションの今後進むべき道ともいえる「ビジョン」「ミッション」「目標」「戦略」が明確となった。そのビジョンは、「年齢、性別、民族に関係なくすべてのマスターズ競技者を、陸上競技ファミリーのひとつの輪に結び付け、「生涯にわたる陸上競技」実現に貢献すること」というものである。

### ◆マスターズ組織の各国陸連への統合

今回、コミッションが明確に打ち出したのは、各国のマスターズ活動は、独立した組織が単独で実践するのではなく、各国陸連と同じ傘の下で協調してなされるべきということであった。過去には、IAAFとマスターズの関係が険悪だった時期もあるし、競技志向が強い国の陸連では、マスターズは歓迎されてこなかったという歴史もある。しかし、若年層からのスムーズな移行を考えれば、当然な流れなのかもしれない。

良い事例としてヨーロッパ陸連とヨーロッパマスターズの関係が紹介された。マスターズは、ヨーロッパ陸連の傘下にはいり、ホームページも共同で運用している。ヨーロッパの主要国も同様な関係であるという。オーストラリア、アメリカはすでに統合されているし、最近では、カナダでも両者の合意が得られたとの報告があった。

### ◆地域陸連とマスターズ

各国での関係以上に、懸案が、地域内での両者の関係である。ヨーロッパとオセアニア以外では、地域陸連とマスターズの関係が良好とはいえない。アジアでも、マスターズへの理解があるとはいいがたい。IAAFは、各地域の陸連に対し、今後、マスターズを受け入れ協同するよう働きかけることが確認された。

### ◆マスターズゲームズ

WMAは、IAAFが承認した唯一のマスターズ陸上競技統括団体である。WMAは、屋内外の世界選手権を主催するほか、地域選手権を承認している。ところが世界には、国際マスターズゲームズ協会(IMGA)という団体が存在し、ワールドマスターズゲームズというマスターズを対象とした総合スポーツ大会を主催している。異なる組織によるマスターズ競技会の乱立により、これまで、競技会日程の重複や競技規則整合性の欠如など諸問題が報告されている。一番の問題は、IMGAは、ゲームズ開催の契約を各国の競技団体を介さず自治体と結んでしまうため競技運営の責任の所在が中途半端になることだということ。IAAFの協力団体であるWMAの競技会であれば、IAAF傘下の各国陸連が審判員を派遣協力するのは、自然の流れである。IAAFは、WMAに対し、IMGAとの対話と協調を望んでいるが、両者の溝は深い。逆にWMAは、IAAFとIMGAとの対話による調整を期待しているようであった。

この問題は、他人事ではない。日本では、2021年に、関西広域圏で、同ゲームが開催されるという報道がある。陸上競技も実施されるという。そうすると競技役員の派遣要請は、陸連や地元陸協になされるわけだが、現状では、板挟みになってしまう可能性がある。IAAF、WMAとIMGAとの今後の友好的な調整に期待したい。

# 2014数字で見る陸上競技Vol.1 都道府県公認競技会数

事務局

今号より、昨年に引き続き、シリーズ「数字で見る陸上競技」の連載を開始します。

Vol.1では、2014年4月25日現在の都道府県陸上競技協会公認競技会数を掲載します。

NO	陸協名	公認競技会数
1	北海道	198
2	青森	62
3	岩手	36
4	宮城	45
5	秋田	67
6	山形	96
7	福島	97
8	茨城	71
9	栃木	40
10	群馬	110
11	埼玉	84
12	千葉	92
13	東京都	158
14	神奈川県	156
15	山梨	56
16	新潟	118
17	富山	45
18	石川	108
19	福井	48
20	長野	131
21	静岡県	84
22	愛知県	119
23	岐阜	70
24	三重	84
25	滋賀	43
26	京都	98
27	大阪	209
28	兵庫県	286
29	奈良	60
30	和歌山	63
31	鳥取	61
32	島根	94
33	岡山	71
34	広島	182
35	山口	73
36	徳島	58
37	香川	63
38	愛媛	59
39	高知	58
40	福岡	118
41	佐賀	38
42	長崎	50
43	熊本	43
44	大分	51
45	宮崎	71
46	鹿児島	30
47	沖縄	68
合計		4122

# 大会観戦ガイド

## 第98回日本陸上競技選手権大会（混成競技） 第30回日本ジュニア陸上競技選手権大会（混成競技） 兼第17回アジア競技大会（2014／仁川） 代表選手選考競技会

- ▼期日：2014年5月31日（土）～6月1日（日）
- ▼会場：長野市営陸上競技場  
長野県長野市東和田632
- ▼アクセス：JR「北長野」駅下車徒歩約20分、長野電鉄「朝陽」駅下車徒歩約15分、長野電鉄バス「運動公園」下車、上信越道「須坂長野東インターチェンジ」より約20分
- ▼種目：男子〈日本選手権〉十種競技  
競技開始1日目10：45  
競技開始2日目09：45  
〈ジュニア選手権〉十種競技  
競技開始1日目10：00  
競技開始2日目09：30

- 女子〈日本選手権〉七種競技  
競技開始1日目11：30  
競技開始2日目10：30  
〈ジュニア選手権〉七種競技  
競技開始1日目11：15  
競技開始2日目10：30

- ▼問合せ先：一般財団法人長野陸上競技協会事務局  
TEL：0268-35-2132  
※大会の詳細は日本陸連HP内、大会ページ<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1188/>で随時アップします！

## 第98回日本陸上競技選手権大会 兼第17回アジア競技大会（2014／仁川） 代表選手選考競技会

- ▼期日：2014年6月6日（金）～8日（日）
- ▼会場：とうほう・みんなのスタジアム  
（県営あづま陸上競技場）

未来、走れ、  
FUKUSHIMA 2014  
第98回  
日本陸上  
競技選手権大会

98TH  
日本陸上  
競技選手権大会  
兼第17回アジア競技大会(2014/仁川)代表選手選考競技会

2014 6/6-8 会場：とうほう・みんなのスタジアム  
（県営あづま陸上競技場）

◎種目／男子（18種目）  
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、  
10000m、110mH、400mH、3000m障害物、  
5000m、10000m、100mH、400mH、3000m障害物、  
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、  
ハンマー投、やり投

◎種目／女子（18種目）  
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、  
10000m、100mH、400mH、3000m障害物、  
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、  
ハンマー投、やり投

福島から走り出す。

5月12日より  
前売りチケット  
発売開始

主催／日本陸上競技連盟 共催／福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会  
後援／読売新聞社、福島民友新聞社、福島民報社、第98回日本陸上競技選手権大会福島県実行委員会 主管／福島陸上競技協会  
特別協賛／山崎製パン株式会社 協賛／アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、日本航空、株式会社ニシスポーツ、株式会社セレスポ

福島県福島市佐原字神事場1番地

▼アクセス：福島駅より福島交通・「佐原」、「四季の里」行きバスで30分。

▼競技実施日：エントリー数により予選・準決勝はなくなる場合があるが、決勝実施日に変更はない。

第1日目：6月6日（金）

男子：200m予選／1500m予選／3000m障害物決勝  
女子：200m予選／400m予選／1500m予選／10000m決勝／走高跳決勝／棒高跳決勝／三段跳決勝／円盤投決勝／やり投決勝

第2日目：6月7日（土）

男子：100m予選／200m決勝／400m予選／800m予選／1500m決勝／10000m決勝／110mH予選／400mH予選・準決勝／棒高跳決勝／三段跳決勝／円盤投決勝／ハンマー投決勝  
女子：100m予選／200m決勝／400m決勝／800m予選／1500m決勝／100mH予選・決勝／400mH予選／走幅跳決勝／砲丸投決勝

第3日目：6月8日（日）

男子：100m決勝／400m決勝／800m決勝／5000m決勝／110mH準決勝・決勝／400mH決勝／走高跳決勝／走幅跳決勝／砲丸投決勝／やり投決勝  
女子：100m決勝／800m決勝／5000m決勝／3000m障害物決勝／400mH決勝／ハンマー投決勝

▼テレビ放送予定：

第1日：

6月6日（金） 19：00～20：50（NHK BS-1）  
24：50～25：50（NHK総合）

第2日：

6月7日（土） 16：00～18：00（NHK総合）  
25：00～26：50（NHK BS-1）

第3日：

6月8日（日） 16：00～18：00（NHK総合）  
24：00～25：50（NHK BS-1）

▼チケット情報：好評発売中！

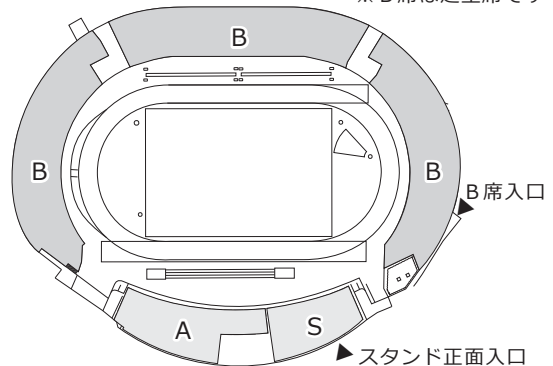
▼問合せ先：日本陸上競技連盟事務局

TEL：03-5321-6580

※大会の詳細は日本陸連HP内、大会特設ページ

<http://www.jaaf.or.jp/jch/98>で随時アップします！

※B席は芝生席です



【チケット情報】

前売り	S席
一般	2,000
中・高校生	1,500

当日売り	S席	A席	B席	団体S席（10枚）	団体A席（10枚）	団体B席（10枚）
一般	2,000	1,500	500	18,000	13,500	4,500
中・高校生	1,500	1,000	300	13,500	9,000	2,700
シルバー（60歳以上）	1,500	1,000	300			

【チケット詳細情報】

- 小学生以下は無料。
- チケットはエリア指定。（座席指定なし）※下記【チケットの入場制限表参照】
- 中高生、シルバーの当日販売は、証明証の提示が必要。（シルバー割引は60歳以上が適用）
- 車椅子席等のお問い合わせは大会運営事務局まで。

【特典】

※前売券S席には、オフィシャルプログラム付き。

チケットに関するお問い合わせ：TEL03-5974-1192（チケット販売事務局）

【チケットの入場制限表】

		S席	A席	B席
S席チケット	⇒	○	○	○
A席チケット	⇒	×	○	○
B席チケット	⇒	×	×	○

**JAAF**  
SAGA

一般財団法人佐賀陸上競技協会

〒840-0852 佐賀市中折町10-18 高橋正秀様方  
TEL.0952-23-8961 FAX.0952-23-8961  
http://www.sagarikujyo.jp/

4月6日、第2回佐賀桜マラソン2014に国内外1万人のランナーが  
出場した。今回招待選手として川内優輝選手が出場し、2時間13分2  
秒で優勝、女子はフルマラソン初挑戦の中国・貴州省に住む大学生、  
陽花選手が2時間38分23秒で優勝、沿道を埋めた7万人の声援と  
3千人のボランティアの暖かいもてなしがランナーを後押しした。

完走率が92パーセントをこえる大会でランナーからいい大会だった  
という評価をいただいた。

今年8月、日本選手権大会の予選を兼ねた第69回九州陸上競技選  
手権大会を7年ぶりに佐賀で開催する。長距離種目をナイターで開催  
し、審判員の技術向上と普及に励みたいと思っております。

**JAAF**  
NAGASAKI

一般財団法人長崎陸上競技協会

〒854-0061 諫早市宇都町27-1  
一般社団法人長崎公園緑地協会管理事務所分室内  
TEL.0957-21-1921 FAX.0957-21-1921  
http://jaaf-nagasaki.net

第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体）が今秋に迫り慌た  
だしい日が続いています。

競技役員の確保や主任会議、審判講習会、競技会の役員をサポート  
する補助員の育成、「競技者が記憶に残る国体」に努めていますが、  
当競技場はサッカーの試合と競合する為、リハーサル大会等厳しい日  
程を余儀なくされています。

一方、競技場施設の点検、競技用備品の点検整備、練習場の確保、  
各都道府県選手団の待機場所の確保、駐車場等色々です。

また、実行委員会とでは大会本部等の諸室の配分、競技者、表彰  
者の導線等細部の調整打ち合わせ、ボランティアの募集育成等、「こ  
れで大丈夫、良いのか？」と自問自答しながら準備が進められています。

長崎がんばらんば国体は10月18～22日までの開催となります。全  
国のアスリートの皆さん、体調を整えて来県下さいませ。「ようこそ長  
崎へ」お待ちしております。（文責：総務部長 藤島 義信）

**JAAF**  
KUMAMOTO

一般財団法人熊本陸上競技協会

〒861-8046 熊本市石原2-9-1 熊本県民総合運動公園内  
TEL.096-388-1688 FAX.096-388-1688  
http://www.kumariku.org/

「熊本城マラソン2014」金栗記念第58回熊日30kmロードレースは  
2月16日に開かれ、服部勇馬選手（東洋大学）が1時間28分52秒の  
日本学生新記録で初優勝した。また同フルマラソンの部は川内優輝選  
手（埼玉県庁）が2時間10分14秒の大会新記録で勝ち、前年の熊日  
30キロと合わせて両部門の覇者となった。同女子は坂口一美選手（鹿  
児島）が2時間57分54秒で3連覇。なお、大会実行委員長の山山政  
史熊本市長もフルマラソンを完走した。4キロの部も合わせた大会参  
加者は全国から1万3千人。

第23回金栗記念選抜中・長距離熊本大会（4月5日、県民総合運  
動公園陸上競技場）の女子一般5000mで地元・千原台高出身の野田  
沙織選手（大阪学院大学）が5位に入賞。男子一般5000mは7位ま  
でを外国勢が占めた。

全日本中学校陸上競技選手権大会が2017年に熊本で開催される  
ことが決定した。沢田修熊本陸協理事（中体連）は「指定選手の合同  
練習やキッズを集めた陸上教室などを開いて選手の育成強化を図り、  
これらの中から最低でも一人は東京オリンピックの代表を出したい」  
と同大会をきっかけに長期的な視野での強化を図りたい考え。

施設の老朽化で陸上競技の記録が公認されない状態となり昨年12  
月から閉鎖されていた水前寺競技場は、熊本市が1億2000万円の費  
用をかけたトラック全面張り替えなどの改修工事が3月末に終わり、  
日本陸連の検定を受けて合格。4月1日から使用できるようになった。

（文責：企画・広報部長 永廣憲一）

**JAAF**  
OITA

一般財団人大分陸上競技協会

〒870-0931 大分市西浜1-1 大分市宮陸上競技場3階  
TEL.097-552-7808 FAX.097-552-7806  
http://www.d-b.ne.jp/oita-rik/

2020年に東京オリンピックの開催が決定しました。これを契機に、  
大分陸協強化部では、事業別に組織を整理し、会議を開くと共に、各  
種選手強化事業における最終目標を「大分から世界へ！ 大分からオ  
リンピック選手を！」に統一しました。従来の大会や強化活動におけ  
る単年度目標の先に、選手と指導者が共に目指す最終目標を掲げるこ  
とにより、強化活動を点から線にイメージすることを狙いとしています。  
その手始めとして、昨年の12月に北京オリンピック4×100mリレー銅  
メダリストの高平慎土選手を招き、小中学生400名を対象に、陸上ク  
リニックを開催しました。このような「メダリスト招へい事業」を今  
後も続けていく予定です。

また、新規事業として、TOP（Top athlete oita project）という「大  
分から世界を狙う」トップアスリートを支えるスポンサーシステムを  
昨年11月に設立しました。その第一期生も決定し、4月からいよいよ  
活動開始となります。新事業について試行錯誤の段階ですが、周囲の  
理解と協力のおかげで順調に推移しています。

「チーム大分」、「チーム大分ジュニア」といった大分国体の原動力  
となった強化システムの流れを汲みながら、大分の地域性にあった強  
化システムを、構築できるよう今後も努力していきたいと考えていま  
す。



# 陸協NEWS



**JAAF**  
MIYAZAKI

一般財団法人宮崎陸上競技協会

〒880-0022 宮崎市大橋2-6-1 ヤヨイビル5階  
TEL.0985-25-6011 FAX.0985-25-6011  
<http://www.miyariku.org/>

長い間、常にインターハイ入賞を続けてきた本県の投てき競技は、指導者の世代交代などもあり陰りが見られるようになった。そんなとき志あるベテラン（当時延岡西高校の大嶋、当時高千穂高校の吉峰）が新進気鋭（宮崎工業高校・秋本）に働きかけ、投てき競技の復活に取り組むことになった。まずは投てき競技の南九州合宿の宮崎開催を目指すことになり、沖縄の知念先生（中部高校）などの理解と協力により、最も困難だった沖縄はインターハイ終了直後に実施することで参加可能となり、翌年には熊本が参加して、ついに南九州4県がすべて揃うことになった。その成果は時を経ずしてインターハイでの好成績につながり、手応えを感じた本県スタッフは、さらにその成果を継続させるために県内の中学校での普及・強化に目を向け、平成17年から年10回、投てきクリニック・チャレンジスロー記録会を開始させ、本県投てき競技の完全復活を目指している。

（文責：前理事長 安部勝也）



投てきクリニックの状況

**JAAF**  
KAGOSHIMA

一般財団法人鹿児島陸上競技協会

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-2-2 県立鴨池陸上競技場内  
TEL.099-259-6053 FAX.099-299-6054  
<http://www3.synapse.ne.jp/karikupage/>

いよいよ4月13日より、県記録会も始まり、2014年度もスタートしました。

当陸協では2020年の鹿児島国体を見据えた取組みをさらに強化しようとしています。

私どもの普及部では少年種目の対象になる小学生を中心に、従来行われていたジュニアプロジェクト研修合宿の人数を増やしたり、練習会を増やすことで陸上をさらに好きになるようなプログラムを考えています。また地域で行う巡回陸上教室の開催や、地域の小学生記録会への視察を通して、タレント発掘も進めています。

さらに、小学生指導者の育成も進めていくことも急務です。指導者の研修も活発化させ、資格取得も進めたいと考えています。今後も強化部との連携を図りながら、2020年の鹿児島国体に向けての取組みがその後の遺産として残るように、準備していきたいと思っています。



地域で行われる巡回陸上教室

**JAAF**  
OKINAWA

沖縄陸上競技協会

〒900-0027 那覇市山下町18-26  
沖縄県住宅供給公社2階B棟208号室  
TEL.098-996-2881 FAX.098-996-2882  
<http://www.jaaf-okinawa.jp/>

お陰様で平成25年度は本県にとって28年ぶりとなるユニバーシアード大会日本代表が二人誕生し、「第27回ユニバーシアード陸上競技大会(2013/カザン)」において、与那国選手が銀メダル(4×100mリレー)、木村淳選手が5位(4×400mリレー)に入賞しました。また、国内大会においては、第1回全国高等学校陸上競技選抜大会、女子ハンマー投で本村夏鈴選手が初代チャンピオンに輝きました。また、県新記録11個、県高校新記録3個、県中学新記録6個を樹立するなど多くの成果を収めることが出来ました。

強化・普及活動面では、高体連陸上専門部や強化部とタイアップを図り、合同強化練習や各ブロック別の合宿が冬季から実現し意識の高いトレーニングと指導法について吸収することが出来たことは、大きな成果であり選手や指導者にも刺激になっています。他にも、ここ数年定着化した日本陸連ジュニア・ユース選抜合宿に沖縄選抜メンバーを参加させることや、企画提案型競技力向上対策補助事業と連携を図り、内外の第一線で活躍の講師・選手のもとで研修及び強化練習を行うことで、全国インターハイや国民体育大会に向けての意識の高揚や競技力の向上を図る取り組みを実施しているところです。昨年度は、北村肇先生(中京大中京)・松隈大治先生(百道中学校)の両氏を招いての招聘活動を実施しました。

これも偏に、皆様方のご協力と特段のご配慮を頂きました賜であり、深く感謝申し上げます。

本年度も、沖縄陸協をよろしくお願ひ申し上げます。

（文責：強化部長 仲宗根敏晃）

事務局からのお知らせ



◆◆今年の日本陸上競技選手権大会は福島で開催します！◆◆

今秋開催の第17回アジア競技大会（2014／仁川）の代表選手選考競技会を兼ねて開催する第98回日本陸上競技選手権大会。今年の日本選手権の舞台は、福島、とうほう・みんなのスタジアム！

2011年3月11日に起こった東日本大震災より復興を目指す福島での開催に、選手達の熱戦を是非、競技場でご声援をお願い致します。

大会公式ウェブサイト：<http://www.jaaf.or.jp/jch/98/>

◆◆陸上競技ルールブック2014年度版を4月より全国の書店、ネット書店で販売開始しました。◆◆

陸上競技関係者や愛好家のための2014年度版ルールブックの発売を開始しました。

修改のあった国際及び日本国内陸上競技ルールを反映し、すべてのルールのほか競技場の仕様、全国の公認陸上競技場一覧などを掲載しているルールブック。お近くの書店にない場合は、電話またはホームページからご購入いただけます。

お電話でのご注文の場合：0120-911-410

（ベースボール・マガジン社 受注センター）

受付時間：月～金 10：00～12：00、13：00～16：00

（祝祭日を除く）

ホームページからご注文の場合：

ベースボール・マガジン社のウェブサイトへ

<http://bookcart.sportsclick.jp>

競技規則を正しく把握して、審判技術の理解を深め円滑な競技会運営を実行するために審判員必携のハンドブック、審判員のための2013-2014年度版ハンドブックは昨年4月から変わらず発売中です。



◆◆陸連時報を本連盟公式ウェブサイトで公開しています！◆◆

2013年1月号から陸連時報を本連盟公式ウェブサイトで公開しています。

アドレスは <http://www.jaaf.or.jp/rikuren/jihou.html> です。

陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩（陸連会長）  
三宅 勝次（陸連副会長）  
友永 義治（陸連副会長）  
尾縣 貢（陸連専務理事）  
原田 康弘（陸連強化委員長）  
風間 明（陸連事務局長）  
高橋 克実（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

森 泰夫  
◇時報編集担当  
繁田 進  
石塚 浩  
木越 清信  
宮田 宏  
本田香代子  
森谷 真咲

陸連時報編集室

〒163-0717  
東京都新宿区西新宿2-7-1  
小田急第一生命ビル17階  
公益財団法人日本陸上競技連盟 内  
TEL 03-5321-6580  
FAX 03-5321-6591  
ウェブサイト <http://www.jaaf.or.jp/>  
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>